

れ出展し、本町の観光や物産、ふるさと納税のPRなどを実施してまいります。

本行事をきっかけとして引き続き理科大のご協力をいただきながら、特産品の販路開拓や将来の移住促進につながるよう、交流拡大を目指してまいりますと考えております。

マイナンバー制度

マイナンバー制度は、行政の効率化や国民の利便性の向上を目的に、平成二十七年十月から国民一人ひとりに十二桁の個人番号が通知され、平成二十八年一月から社会保障・税・災害対策の行政手続で利用が開始されるものです。番号利用法施行に伴い、関連する条例の一部改正並びに「通知カード」及び「個人番号カード」の交付経費等に係る補正予算を本定例会に提案いたしております。

介護保険事業

平成二十七年度から二十九年度までを計画期間とする第六期介護保険事業計画において、増加する認知症の方や住み慣れた地域での生活を希望する方々へ対応するため、認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）一ユニット九床の整備を推進することとしており、公募の結果、株式会社鈴木総合サービスから

の国縫、静狩、双葉、字長万部地区のそれぞれの販売所を会員とする道新内浦会と「長万部町における高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を締結いたしました。

協定は、住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、新聞配達業務において、訪問先で異変等を発見した場合は、町に連絡していただき、孤立の防止や支援の必要な方を把握することにより、地域福祉の向上を図ることを目的とするものであり、今後とも、住民の安全・安心を守るための施策を進めてまいります。

農業関係

応募があり、要件が整ったことから、長万部町高齢者介護・保健福祉推進委員会の審議を経て、七月一日付けで整備を承認いたしました。事業所は、平成二十七年中に運用が開始される予定となっております。

家畜の主たる飼料作物の牧草は、八月十五日現在の生育状況調査では、二番草収穫作業が平年並みに推移しており、サイレージ用とうもろこしの生育も順調であります。

生乳生産量は一月から七月末日まで約六千七百二十トンを出荷し、前年に比べ二十七トンの減、乳代は約五億三千二百一十一万円で前年に比べ二十九百四十万円の増となっております。

黒毛和牛の一月から七月までの販売頭数は百四十七頭、販売金額は約八千六百二十三万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は二十五頭の減となり、販売金額では約七十六万円の減となっております。

林業関係

町有林一般造林事業地拵・植栽事業三ヘクタールは五月二十九日に完了しており、さらに秋植分三ヘクタールを予定しております。

町有林一般造林事業下刈事業の豊津地区四ヘクタール及び共立地区五ヘクタール、静狩地区十一・〇五ヘクタールは、七月十六日に完了し、春植分三ヘクタールについても七月二十一日に完了しております。

また、森林農地整備センター分収造林事業の下刈事業は、豊津地区十一・八ヘクタールを、七月十日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、五月二十九日に着手しております。

漁業関係

漁業関係全体の一月から七月末までの水揚げ実績は、約五十一億円と前年同期と比較

し、約十九億円ほど増加しております。

このうち、ホタテ貝の生産量は一万八千七百二十九トンで前年同期と比較し、約五千四百二十五トン増加しており、水揚げ実績では、約十九億四千万円の増となっております。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、六月から投入した採苗機に昨年同様、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、函館水産試験場等関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した静狩漁港旧中央埠頭等の機能保全工事は、今年度も順調に工事が施工されており、平成二十八年度中の完成予定となっております。また、同事業で長万部漁港防砂堤新設工事も同時に施工されております。

マツカワの資源増大事業は、今年度も三万五千尾の放流を実施いたしました。

近年、噴火湾海域で大量発

高齢者等の地域見守り活動に関する協定

八月十八日に、北海道新聞